

稲本健一



1967年12月11日石川県金沢市生まれ。45歳。
名古屋造形芸術短期大学でプロダクトデザインを専攻。

卒業後、東京の商社に就職するも、半年後に名古屋のデザイン事務所へ転職。大学時代から続けていたバーテンダーのアルバイトが飲食人生の原点となるが、1993年に期間限定ビアガーデンのプロデュースを請け負い、成功を収めたことをきっかけに、本格的に飲食ビジネスの世界へ入る。1995年10月、株式会社ゼットンを設立。1号店となる「ZETTON」(名古屋市中区)をオープン。2001年には「ZETTON恵比寿」(東京都渋谷区)をオープンし、東京へ進出。味噌串カツや石焼ひつまぶしなど「名古屋めし」を東京に持ち込み話題となる。

設立当初から「店づくりは、街づくり」を基本理念とし、現在「商業店舗開発事業」「公共施設開発事業」「カルチャー事業」の3つを戦略事業として、関東・中部圏を中心に海外3店舗を含む65店舗を展開。

「商業店舗開発事業」では、地域・街が異なれば、住む人や働く人が変わり、レストランの利用の仕方や過ごし方が変わるという考えから、一つとして同じ店を作らないという方針で、新しい店舗ブランドを開発し続けている。

「公共施設開発事業」では、人々の生活を豊かにする美術館や公園といった公共施設にレストランを展開。従来、美術館に訪れていた方がついでに利用していた付帯施設であるレストランを、集客施設へと変革することで公共施設の活性化に寄与する。2004年に手掛けた徳川園やランの館を皮切りに、名古屋テレビ塔や横浜マリントワー、東京都美術館のリニューアル等、10以上のプロジェクトを行う。また、当事業のレストランでは、公共施設の魅力を最大限に生かしたレストランウェディングにも取り組んでいる。

「カルチャー事業」では、世界の食文化を海を越えて伝えたいという思いから、「Aloha Table」を中心としたハワイアン業態で、本物のハワイの食を日本に伝えている。ホノルルに本店を、日本では首都圏を中心に19店舗展開。

その他、社内にデザイン事業部を設け、グラフィックデザインやブレーションとして大手外食企業の店舗開発にも参画している。<http://www.zetton.co.jp>